

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週火曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「水」を通して知覚の発達を促す 洗濯ごっこあそびをする中で、友だち、担任、地域の方との言葉でのやり取り、交流を楽しむ。 洗濯ごっこで「洗う」活動から、両手を交互に動かして洗う、絞る、すすぐ、干す、洗濯ばさみで止めるなどの手指運動をあそびながら行う。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	夏の生活の仕方を知り、見守られながら身の回りのことをしようとする。 登園後の手洗い、荷物をロッカーに入れる、おやつ準備、片付け、排泄の手順などわかり、見通しをもって行動できるように視覚支援、スケジュールを用意する ・おちやをのむ・汗をふく・帽子をかぶる・汚れを石鹸でおとす
	運動・感覚	簡単な水の特徴を肌で感じる ・洗濯ごっこを通して、水、湯に触れる。石鹸を泡たてる、匂う、洗う、水で流す、両手で絞る、洗濯ばさみで挟むなど感覚刺激に触れながら手先の操作性を高める。 ・にじみ絵、指絵具を行い、色の変化を楽しむ。
	認知・行動	水に触れてあそぶ ・容器での移し替え(コップからコップ・ペットボトルからコップへなど)ながら、こぼれないように調整する、ともだちや担任に水の入った容器を渡すなどの体験を水あそびから行い、おやつのお茶をコップに自分で注げるようにする。 ・水車に水を流して水の流れを見て楽しむ シャボン玉をふく シャボン玉を吹くことで、追視する、注視する、触る、追いかけるなどのあそびを行っていく ワークシステム、机上課題に取り組む ・課題をしたら片付け、次の課題を自分で取って行うなど一連の課題の取り組み手順がわかるようにする。
	言語 コミュニケーション	洗濯ごっこあそびをする中で、言葉でのやり取りを楽しむ。 地域の方にもご協力いただきながら、洗濯物がいないか尋ねる。洗濯を預かって洗って返却することで「洗濯物ありますか?」「洗います」「きれいになったよ」「乾きました」などのコミュニケーションを地域の方と行う。（ハンカチを事前に地域の方に配布しておりそれを取りに行き、洗う）また洗う時に「泡で洗う、水でながす、干す時は洗濯ばさみでとめる」などのやり取りも楽しんでいく。
	人間関係 社会性	水あそびを、友だちや担任と一緒に楽しむ。 ・友だちと順番や交代で洗濯ごっこに取り組み、社会性を育む。また椅子座りゲーム、だるまさんがころんだなどルールのあるあそびも行う。 洗濯ごっこを楽しむ 洗濯することで、地域の方とのコミュニケーションを深める。
歌・絵本など		絵本 「ぐるぐるせんたく」「みずちゃぽん」「あめふりくまのこ」 歌絵本 「なつのしりとりうた」「あめふりくまのこ」 わらべうた 「たなばたさんが」「とうだほしゃ」
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)		地域の花の水やり 洗濯物を取りに行く、洗濯ごっこなど
移行支援		通園している保育園との連携、情報共有を行う
家族支援		ペアレントトレーニング（7月3日、17日、31日）
職員の質の向上		障害児支援スペシャリスト養成プログラム(自閉症スペクトラム障害がある子どもへの教育的支援、 注意欠陥多動性障害がある子どもへの教育的支援) ポーター早期教育プログラム初期研修セミナー
主な行事等		